

養護教諭補助資料(固有の資質能力)

キャリア段階(経験年数(目安))	0段階	1段階	2段階	3段階	4段階
	養成期(大学)	基礎期(1~3年)	向上期(4~10年)	充実・発展期(11~20年)	深化・貢献期(21年~)
安全と健康を守る力					
① 保健管理	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健安全法や関連法規を理解している。 健康診断、健康観察、学校環境衛生等の保健管理に関する知識と技術を身に付けている。 保健情報の収集・管理・発信方法についての基礎知識及び重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断や学校環境衛生、健康観察等を計画的に実施し事後措置を行う。その中で、健康課題を把握し、保健だよりの発信や健康相談等について適切に対応する。 保健情報等、職務上知り得た情報について守秘義務を遵守し、情報管理の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健管理において、中心的役割を果たすとともに、校内の健康課題に向けて、組織的に対応する。 校内外における関係者と連携した保健管理を計画・実施・評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 救急体制、心のケアの支援体制など、危機管理体制について機能するように働きかけ、学校経営を視野に入れた改善策等を提案する。 校内における保健管理の指導的な役割を担い、児童生徒の健康課題に向け、組織的に対応している。 研究的視点をもった保健管理の展開をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健管理の分野において校内や地域等で指導・助言を行い、後進を育成する。 これまでの実践を振り返り、各地域の実態に応じた研究活動を推進し、教育活動に活用する。
救急処置	<ul style="list-style-type: none"> 救急処置や疾病予防等に関する知識と技術を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 救急処置や疾病予防等について、症状の的確な見極めと医療機関等への受診等を含め、総合的かつ迅速に判断し、対応する。 救急処置や疾病予防等の研鑽を重ね、校内体制で対応できるよう、研修の企画・実施へ積極的に参画する。 			
② 保健教育	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健安全法や関連法規を理解している。 学習指導要領やカリキュラム・マネジメントについて理解し、養護教諭の専門性を生かした保健教育に関わる知識・技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の実態から健康課題を捉え、学級担任等と連携し保健教育を計画的に実施・評価する。 児童生徒の実態から健康課題を捉え、その解決のために発達段階に応じた個別の保健指導を実施する。 保健だより等を通じ、家庭や地域へ保健に関する情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内の連携や外部人材の登用など、コーディネーターの役割を果たすとともに、実践に基づいた評価をし、改善により、より良い保健教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムマネジメントを視野に入れ、学校教育活動全体を視野に入れた保健教育を推進する。 研究的視点をもった保健教育の展開をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健教育の分野において校内や地域等で指導・助言を行い、後進を育成する。 これまでの実践を振り返り、各地域の実態に応じた研究活動を推進し、教育活動に活用する。
③ 健康相談・健康相談活動	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健安全法による健康相談の位置づけを理解している。 養護教諭の専門性や保健室の機能を生かし、児童生徒の心身の健康課題に対応しようとしている。 健康相談や健康相談活動の基本的なプロセスについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の実態と課題の背景の把握をもとに、組織で支援方針や支援方法を検討し、校内外の連携というプロセスを踏まえて、実施・評価していく。 必要に応じて個別の保健指導につなぎ、実践を深め広げる。 健康相談や健康相談活動の基本的なプロセスについて理解し展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見、早期対応に向けて、心身の健康課題を総合的に捉え、コーディネーターの役割を果たし、校内外の関係者と連携し、支援体制に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談、健康相談活動について、これまでの実践の蓄積を更に深化させ、より良い方法を探究している。 研究的視点をもった健康相談・健康相談活動の展開をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談の分野において学校内や地域等で指導・助言を行い、後進を育成する。 これまでの実践を振り返り、各地域の実態に応じた研究活動を推進し、教育活動に活用する。
④ 保健室経営	<ul style="list-style-type: none"> 養護教諭の職務を理解し、保健室経営の重要性や定義について理解している。 保健室経営計画について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標や学校保健目標を受け、その具現化を図るための、保健室の経営において達成されるべき目標を立て、計画的・組織的に運営するように努める。 保健室経営の方針を明示し、保健室経営計画を立て、校内の共通理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標の具現化に向けて、保健室経営計画を実施し、評価・改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健室経営の視点から、学校教育目標の実現のための具体的な方策を提案する。 研究的視点をもった保健室経営の展開をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健室経営の分野において学校内や地域等で指導・助言を行い、後進を育成する。 これまでの実践を振り返り、各地域の実態に応じた研究活動を推進し、教育活動に活用する。
⑤ 保健組織活動	<ul style="list-style-type: none"> 保健組織活動の意義と学校・家庭・地域等の協力連携の重要性を理解している。 学校保健委員会を設ける根拠と理由について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健主事とともに、学校保健計画・学校安全計画等の策定に参画する。 保健主事とともに、教職員と連携し、保健組織活動(学校保健委員会を含む)を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健組織活動に教職員などが主体的に参加できるよう、校内研修などを計画し、啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の学校などと連携し、地域レベルでの保健活動を推進する。 研究的視点をもった保健組織活動の展開をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健組織活動の分野において学校内や地域等で指導・助言を行い、後進を育成する。 これまでの実践を振り返り、各地域の実態に応じた研究活動を推進し、教育活動に活用する。